

小千谷市脱炭素設備導入促進補助金に関するアンケート結果

1 アンケート概要

本市では、脱炭素社会のまちづくり実現のため、住宅や事業所に再生可能エネルギー設備やエネファームを設置する場合に、費用の一部を補助しています。対象者に、下記のとおりアンケートを行いました。

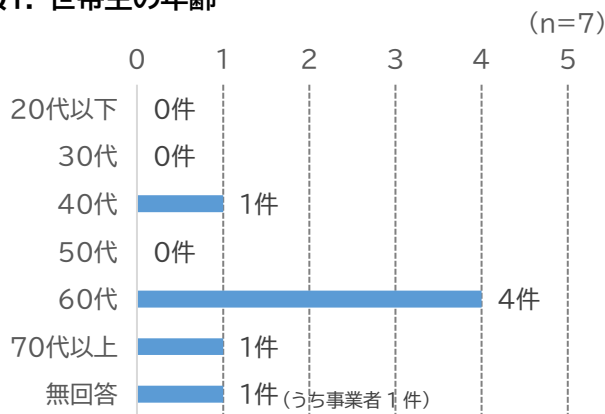
- (1) 対象者 令和6年度の補助金活用者(エネファームの設置はありません)
- (2) 方法 アンケートを対象者に郵送送付(郵送またはインターネットで回答)
- (3) 調査期間 令和8年5月1日～令和8年5月29日
- (4) 調査数 13件：太陽光発電設備 7件(うち事業者1件)、太陽光発電設備と蓄電池の同時設置 3件、木質バイオマス熱利用設備 3件
- (5) 回答数 8件：太陽光発電設備 5件(うち事業者1件)、太陽光発電設備と蓄電池の同時設置 2件、木質バイオマス熱利用設備 1件

2 アンケート結果

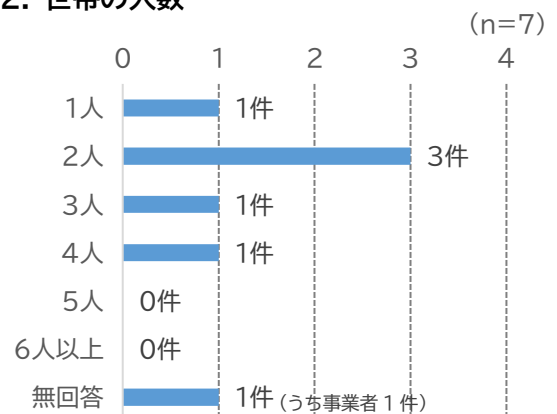
(1)太陽光発電設備(蓄電池と同時設置の場合を含む)

1) 世帯情報

Q1. 世帯主の年齢

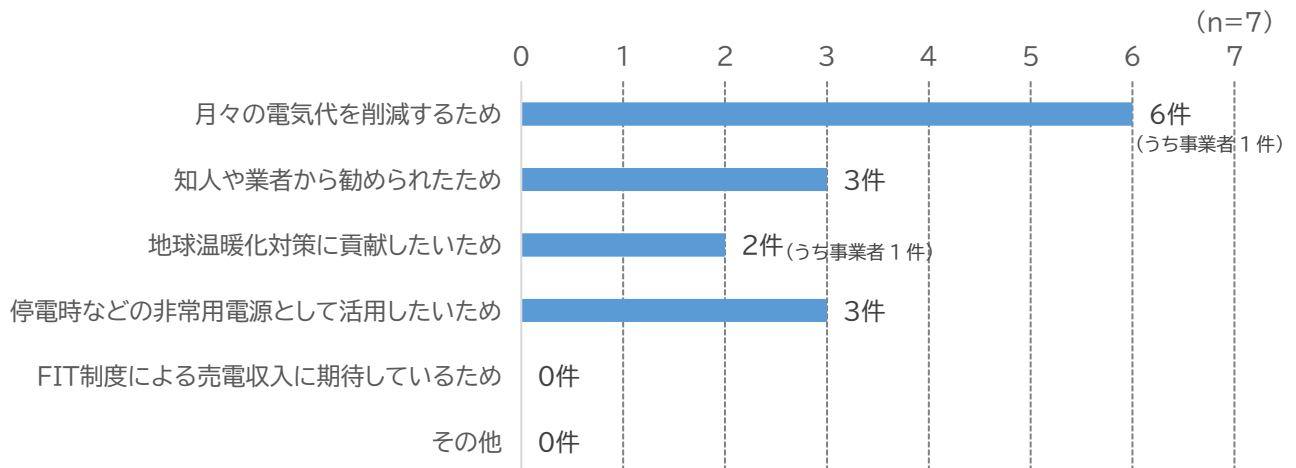


Q2. 世帯の人数

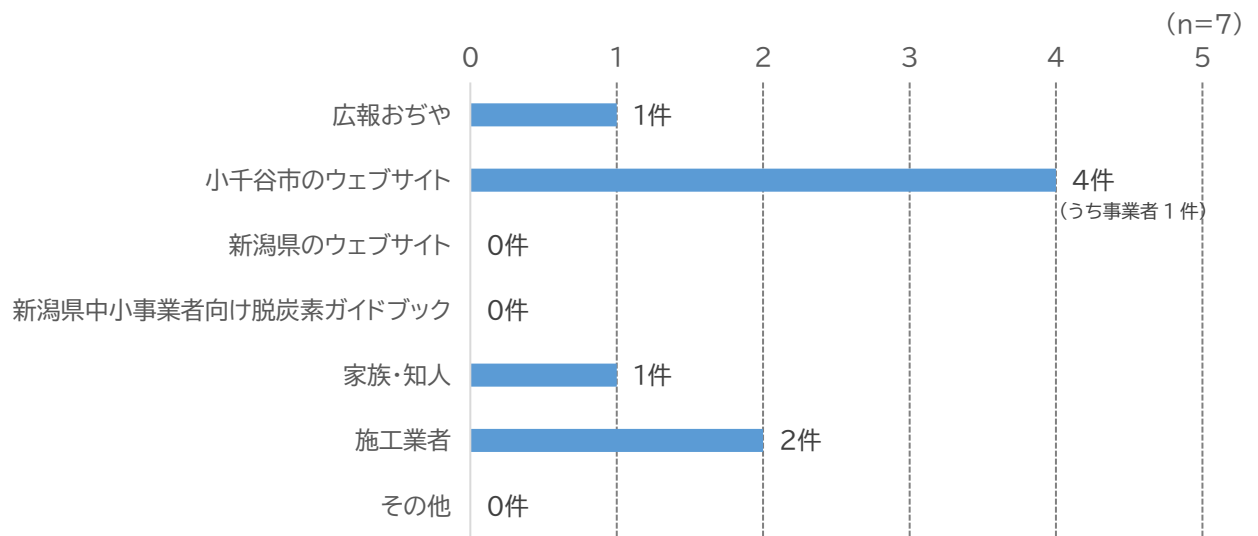


2) 導入設備について

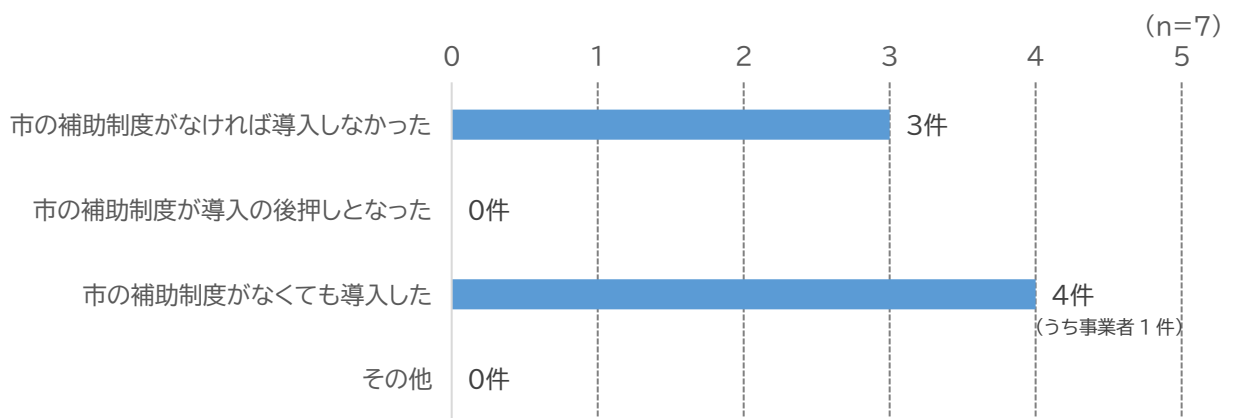
Q3. 太陽光発電設備を導入しようと思ったきっかけは何ですか？(複数選択可)



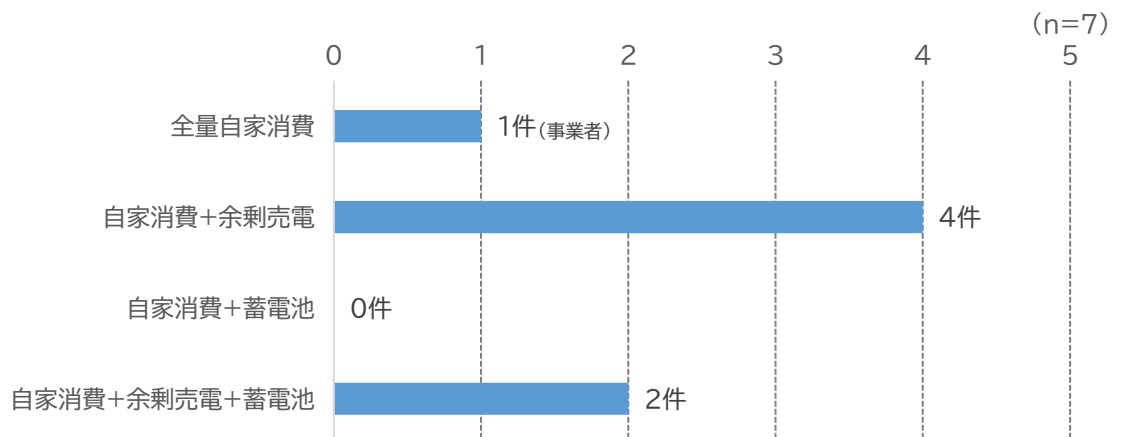
Q4. 小千谷市の補助金制度があることは何で知りましたか？(複数選択可)



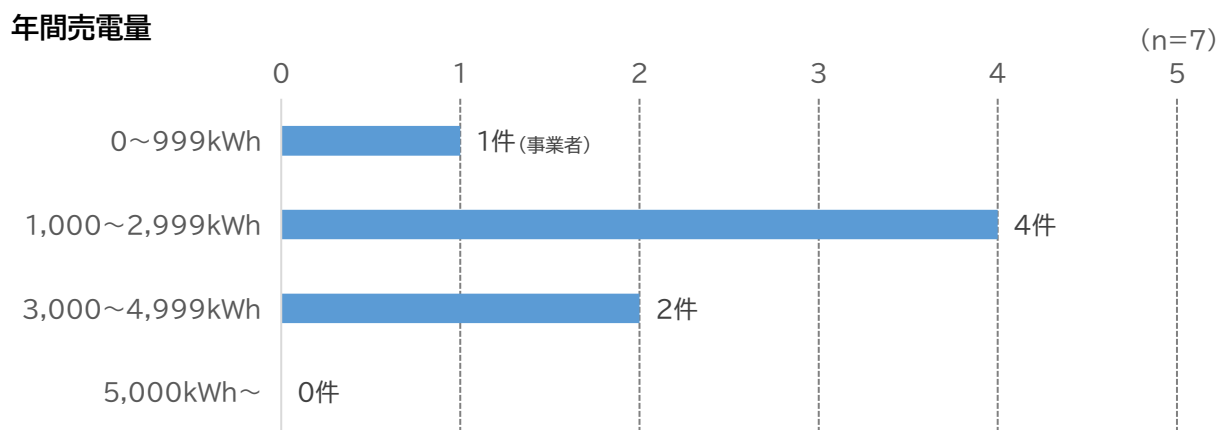
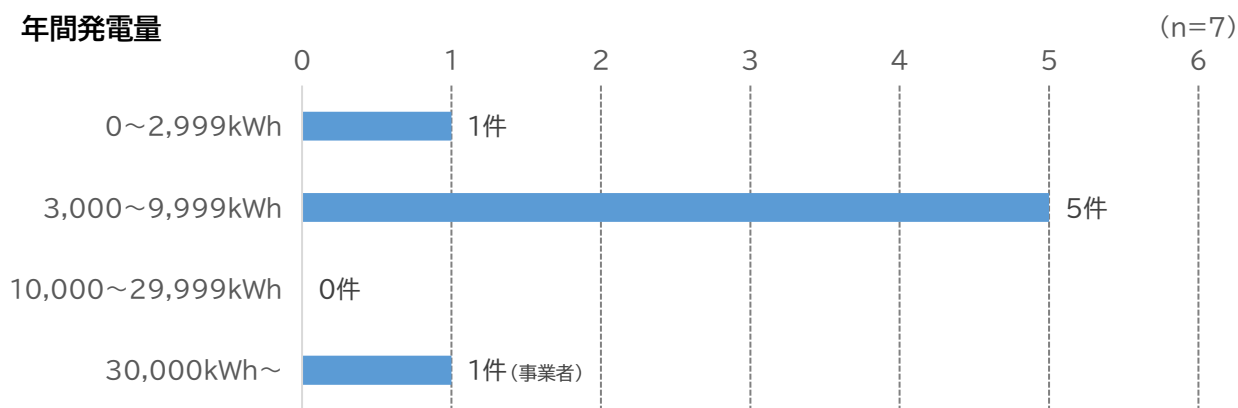
Q5. 設備の導入にあたり、小千谷市の補助制度はどの程度影響しましたか？(1つ選択)



Q6. 発電した電気はどのように使用していますか？(1つ選択)



Q7. 発電量と、余剰売電がある場合は売電量を教えてください。(自由記載)



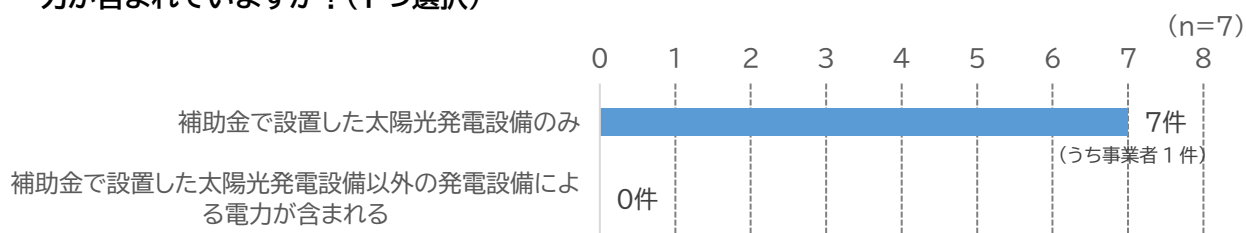
(参考)

■アンケートの回答から以下のとおり算出

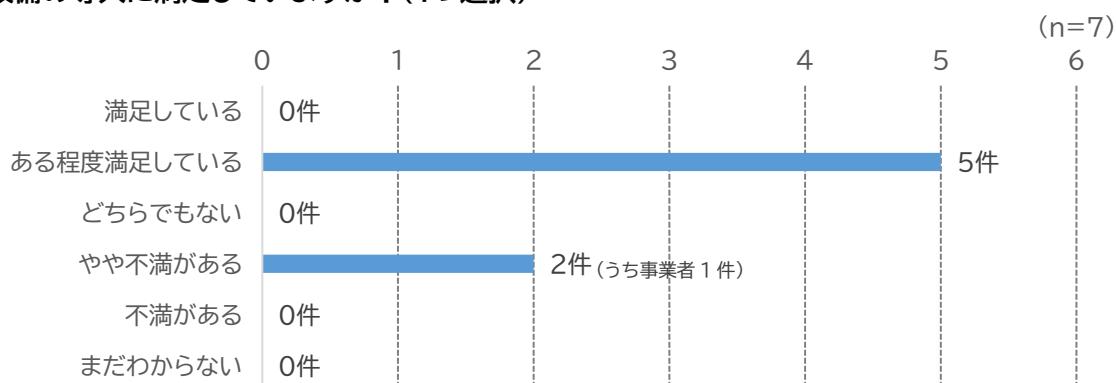
	個人平均(n=6)	事業者(n=1)
年間発電量 (太陽光パネル1kWあたりの年間発電量)	4,203 kWh/件 (995kWh/kw)	192,041 kWh/件 (825kWh/kw)
年間売電量	2,643 kWh/件	0 kWh/件
年間温室効果ガス削減量※	1.7 t-CO2/件	76.8 t-CO2/件

※年間発電量に東北電力の調整後排出係数(令和6年度実績)を乗じて算出

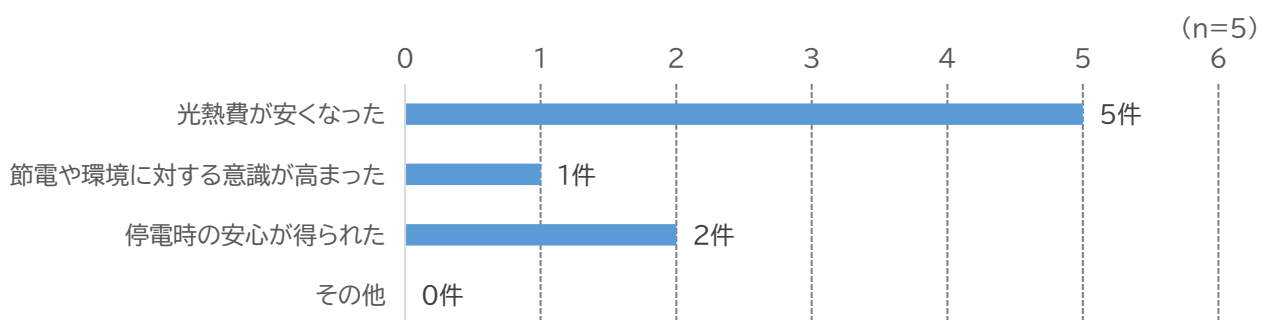
Q8. Q7 の発電量等は小千谷市から補助金を受けて設置した太陽光発電設備以外の発電設備による電力が含まれていますか？(1つ選択)



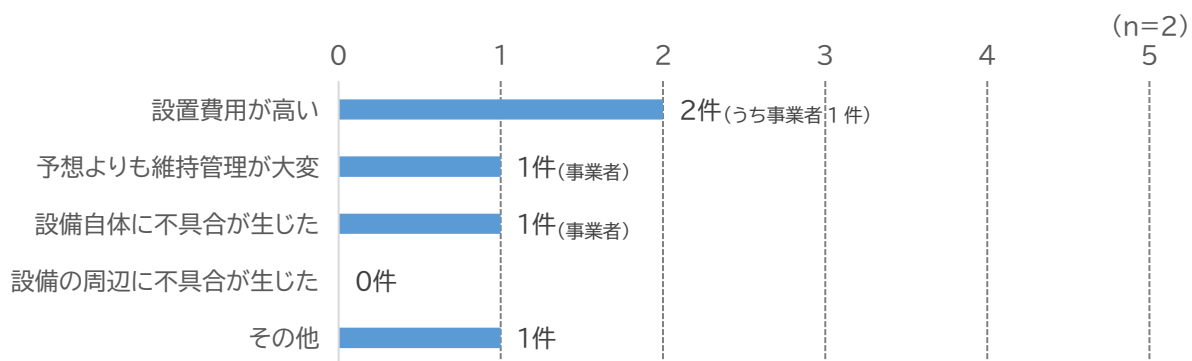
Q9. 現在、設備の導入に満足していますか？(1つ選択)



Q9-1. 「満足している」、「ある程度満足している」を選んだ理由を教えてください(複数選択可)



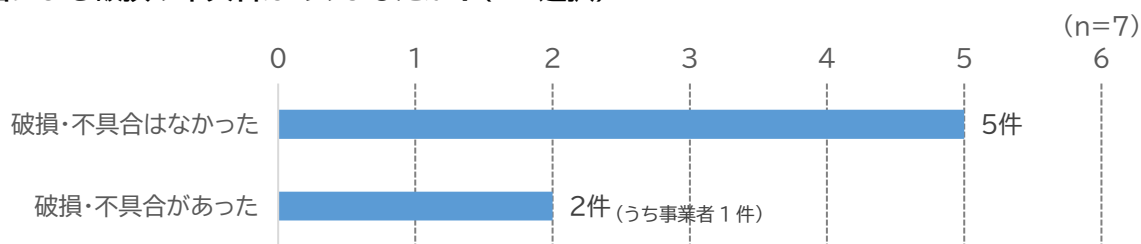
Q9-2. 「やや不満がある」、「不満がある」を選んだ理由を教えてください(複数選択可)



<その他の具体的な内容(自由記載)>

- ・ 冬場の発電量の低さと落雪の対処。

Q10. 積雪による破損や不具合はありましたか？(1つ選択)



<破損・不具合の具体的な内容(自由記載)>

- ・ 積雪荷重の影響で、複数の太陽光パネルの一部セルに発電特性不具合が発生。
- ・ 発電量が少ない。

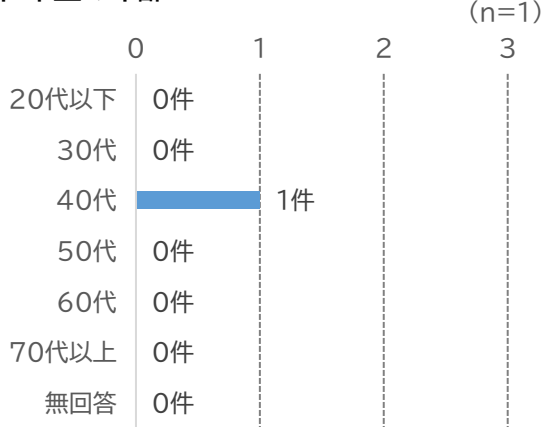
Q11. 太陽光発電設備の導入に関する意見や提言があれば教えてください。(自由記載) (n=7)

- ・ 売電が安すぎて、買電との釣り合いが取れないが、大規模な蓄電池の導入にはハードルが高いので、ポータブル電源によるスポット蓄電の補助が欲しい。
- ・ 落雪屋根に設置したが、寒気時はパネル部分だけ落雪しないためパネル部分のみ積雪が多くなり、暖気したときに一気に落雪する。その衝撃等で、家屋や太陽光設備の損傷に不安がある。
- ・ 小千谷地域は積雪が多く、太陽光パネルの損傷リスクが高く不安が大きい。発電設備の維持管理のため、発電状況の監視、日常や定期的な点検が必要。自社で点検を行うためには、電気有資格者や測定具が必要。
- ・ 蓄電池設備を入れたいが高価すぎて無理。高床の家ではないので屋根全面にパネルを張らず、屋根下側 2m 程は雪下ろしをしている。パネル積雪 20 cm程の上を雪下ろしで歩いているが、不具合は今のところない。

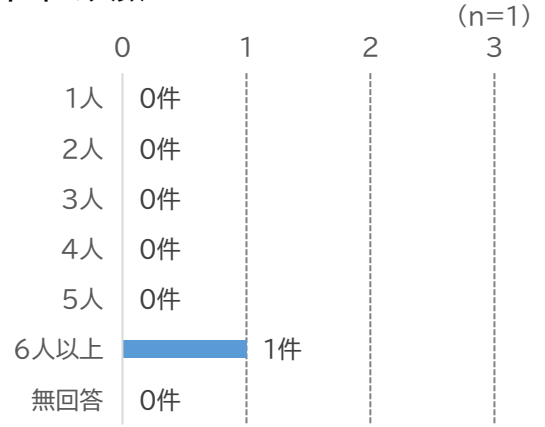
(2)木質バイオマス熱利用設備

1) 世帯情報

Q1.世帯主の年齢

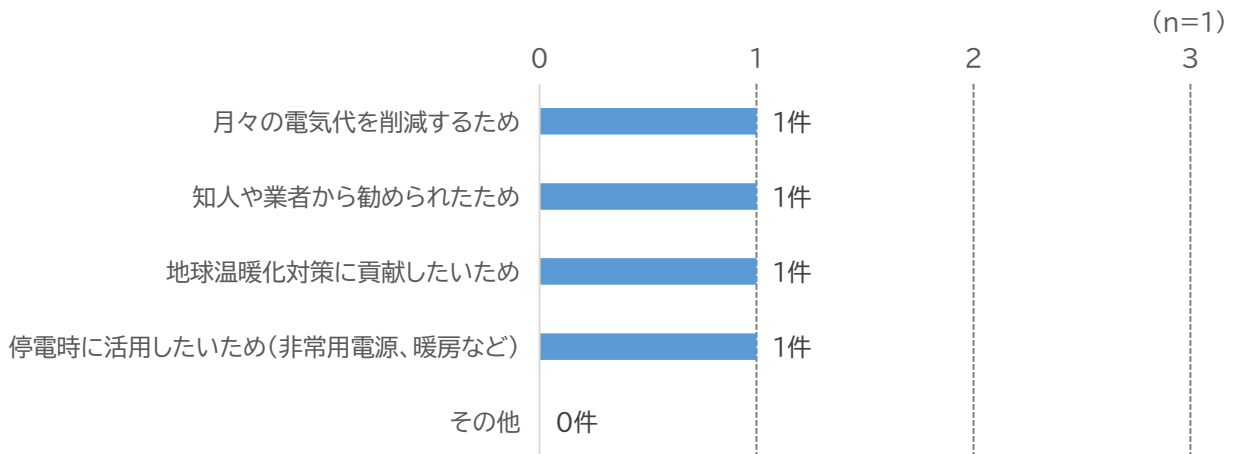


Q2.世帯の人数

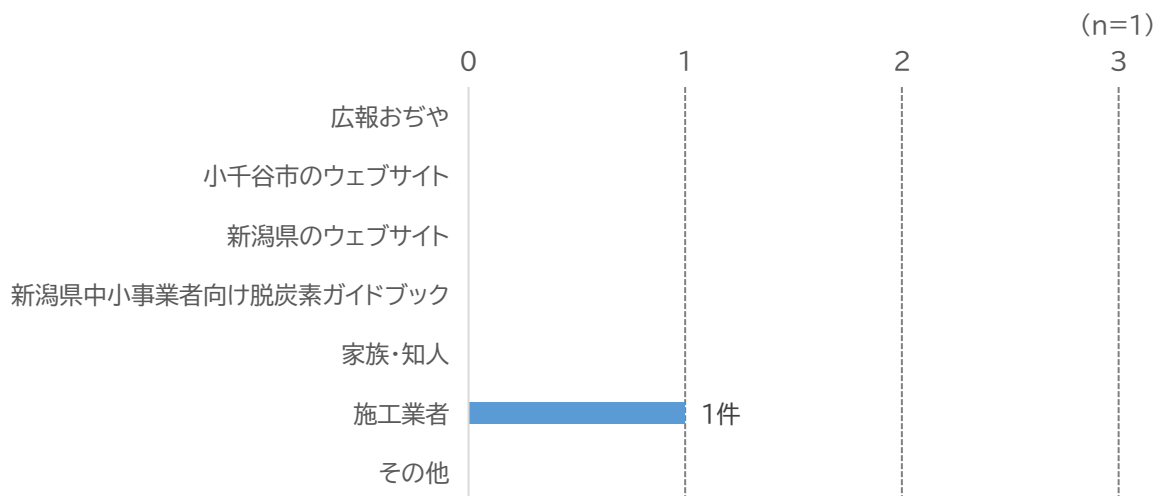


2) 導入設備について

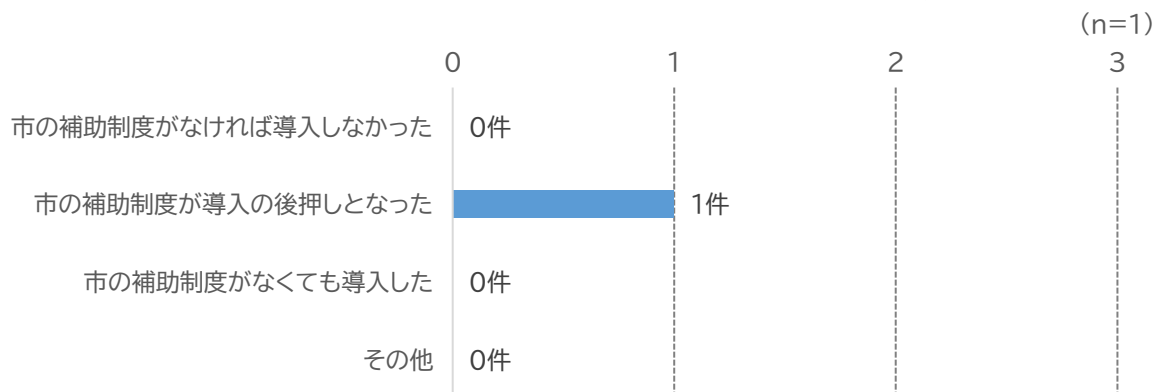
Q3. 木質バイオマス熱利用設備を導入しようと思ったきっかけは何ですか？(複数選択可)



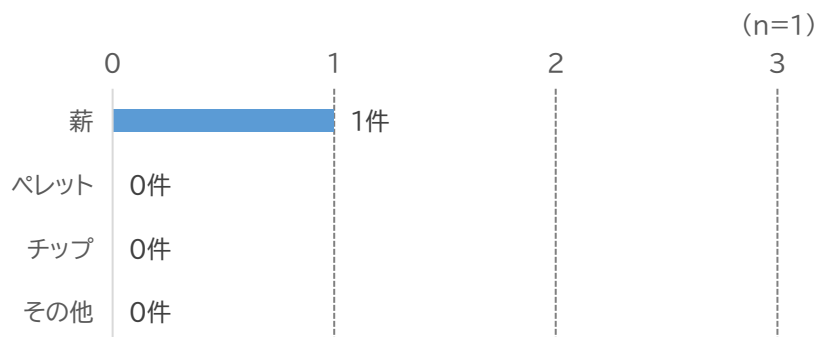
Q4. 小千谷市の補助金制度があることは何で知りましたか？(複数選択可)



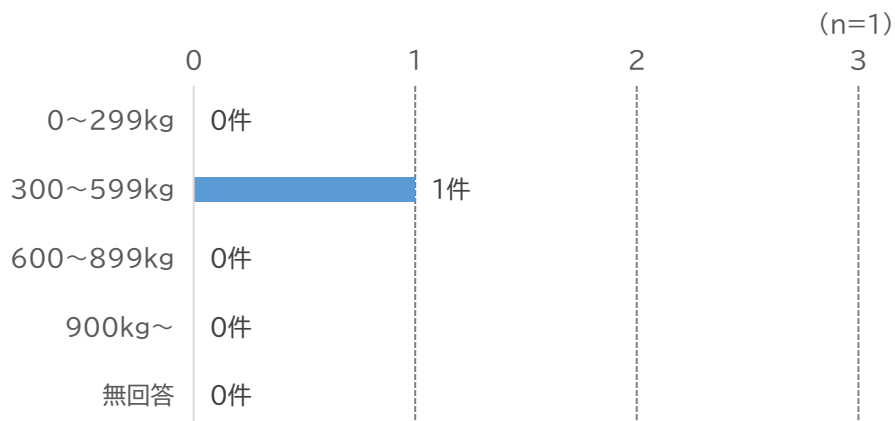
Q5. 設備の導入にあたり、小千谷市の補助制度はどの程度影響しましたか？(1つ選択)



Q6. 使用している木質バイオマス燃料の種類を教えてください。(1つ選択)



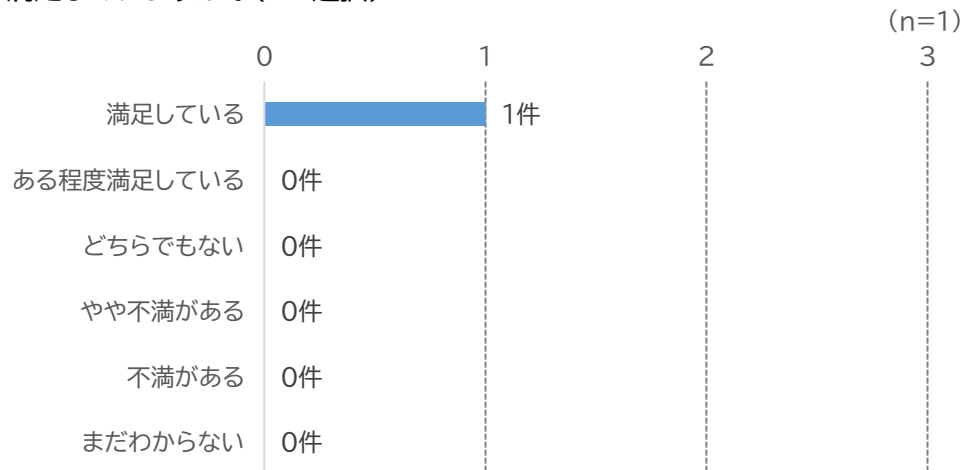
Q7. 木質バイオマス燃料の使用量を教えてください。(自由記載)



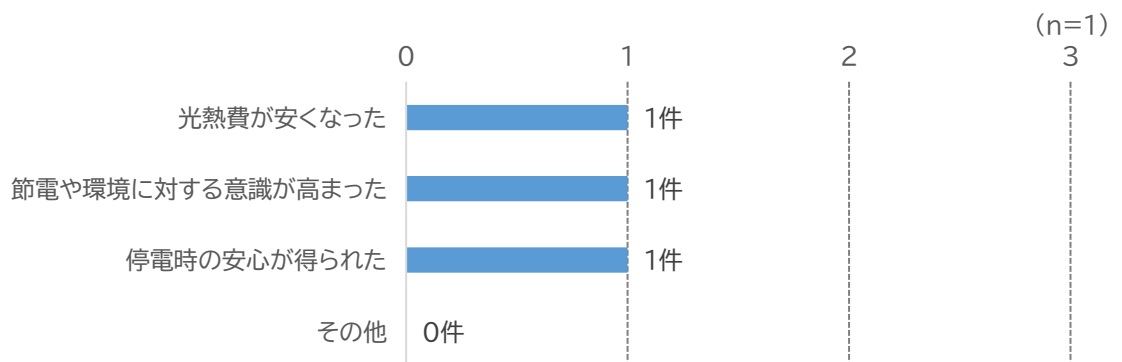
(参考)

- アンケートで回答いただいた木質バイオマス燃料(薪)の年間使用量から、木質バイオマス燃料(薪)を使用した場合と、灯油を使用した場合の年間温室効果ガス排出量を比較して以下のとおり算出
 - ・ 年間温室効果ガス削減量 0.3t-CO₂/件

Q8. 現在、設備の導入に満足していますか？(1つ選択)



Q8-1. 「満足している」、「ある程度満足している」を選んだ理由を教えてください (複数選択可)



Q8-2. 「やや不満がある」、「不満がある」を選んだ理由を教えてください(複数選択可)

回答なし

Q9. 木質バイオマス熱利用設備の導入に関する意見や提言があれば教えてください。(自由記載)

回答なし